



PostgreSQL/PowerGres をデータレプリケーション活用で安価に構築、ビジネス継続性を高めよう!

PowerGres on Linux HA V6 のご紹介

2009年4月8日 15:00~15:40 SRA OSS,Inc.日本支社 マーケティング部





3月11日 製品リリースいたしました。 本節はこちらのご紹介です。







TOC

- PowerGres 212?
- データベースにおけるHA対応の必要性
- PowerGres on Linux HA とは?
- バージョン 6 その特長
- データレプリケーション構成のポイント





データベースのおけるHA対応の必要性

- システム全体の要であり、サービス継続が望まれる
- データが増えればリカバリに時間がかかる

データベースは、システムにおいて一番最初に高可用性化(HA化)を図るべき場所といえる



 PowerGresデータベース製品群の高可用性対応 「PowerGres HA」





PowerGres とは?

- SRA OSS, Inc. による PostgreSQLの商用版
 - ■「高性能オープンソースDBをお手軽に提供」
 - 元は、独自技術による PostgreSQLのWindows対応版
 - サーバ本体部分は PostgreSQLと同じ
 - GUI管理ツールが付属
 - 廉価なサポート年間税別8万円
 - 累計数千本を出荷
 - PostgreSQLとの関係
 - リリーススケジュール

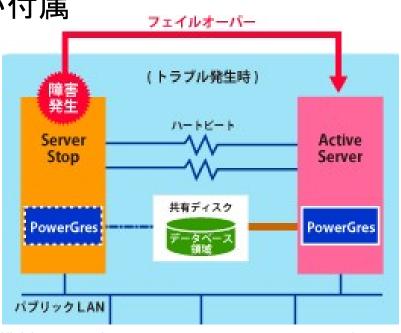






PowerGres on Linux HA とは?

- PowerGres に LifeKeeper をバンドル
 - HAクラスタソフトウェアによる高可用性を実現
 - SRA OSS による独自 ARK が付属
 - ワンストップサポートを提供
 - 2004年より発売
 - これまでは共有ディスクを 使った構成を前提







バージョン6 - その特長

PowerGres on Linux HA V6

V6

- 2009年3月11日より販売開始
- PowerGres V6 = PostgreSQL 8.3.x に相当
- LifeKeeper V6 以上がバンドル
- バンドルするサポートを変更
 - PowerGresHA年間サポート
- データレプリケーション構成に対応
 - 同期レプリケーション、非同期レプリケーションを選択可能





PowerGres HA のサポートサービス変更

- 従来は「性能チューニング」「DB設計アドバイス」等も 質問範囲に含む「PostgreSQL/PowerGres サポート&保守サービス」をバンドルしていた
- お客様要望は「使い方QA」「障害対応QA」であると のことから、より廉価な「PowerGres年間サポート」 をバンドル

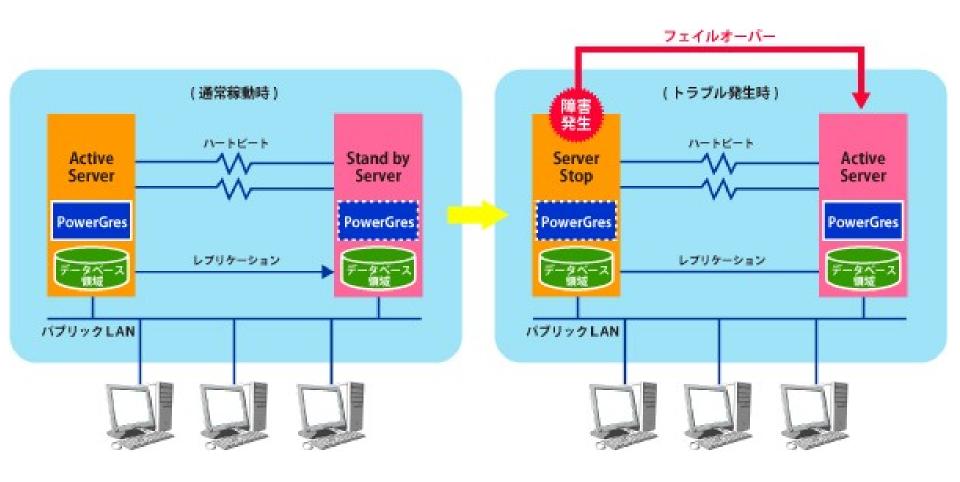


Copyright © 2009 SRA OSS, Inc. Japan All rights reserved.





データレプリケーション構成に対応







画面例: データベースクラスタ作成







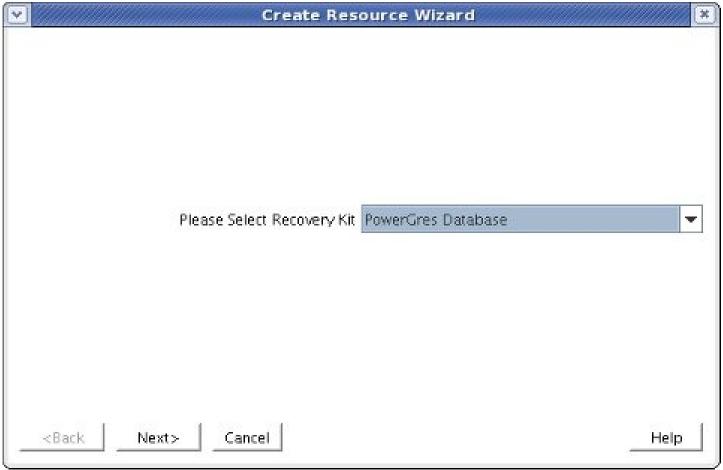
画面例: PowerGres設定







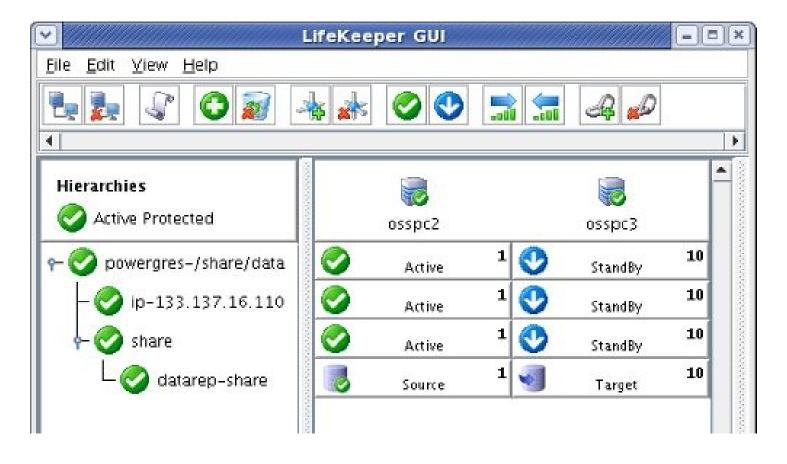
画面例: LifeKeeperにリソース登録







画面例:LifeKeeper GUI







PowerGres on Linux HA V6 構成と価格

共有ディスク構成

PowerGres on Linux	2 システム
LifeKeeper for Linux	2 システム
PowerGres on Linuxリカバリーキット	2 システム
LifeKeeper for Linux日本語マニュアル	1 セット
PowerGres on Linux HA 年間サポート	2 システム/年間

初年度:1,890,000 円 次年度サポート:487,200円(税込)

(旧来) 2,310,000 円 766,500円





PowerGres on Linux HA V6 構成と価格

• データレプリケーション構成

PowerGres on Linux	2 システム
LifeKeeper for Linux with SteelEye Data Replication	2 システム
PowerGres on Linux リカバリーキット	2 システム
LifeKeeper for Linux 日本語マニュアル	1セット
SteelEye Data Replication 日本語マニュアル	1セット
PowerGres on Linux HA 年間サポート	2 システム/年 間

初年度:2,415,000円 次年度サポート:586,950円(税込)





データレプリケーション構成のポイント

- なぜデータレプリケーションか?
 - 弊社が採用した理由
 - お客様に採用いただきたい理由



- 性能検証とその結果
- そのほかのレプリケーションソリューションとの比較





なぜデータレプリケーションか? 弊社が採用した理由

- 従来も各種ソフトウェアを組み合わせて、データレプリケーション構成は可能だったが、サポート提供、信頼性の面で推奨していなかった
- 「LifeKeeper for Linux with SteelEye Data Replication v6」
 - GUIメリット (LifeKeeper GUIと統合されている)
 - SIOS社/SteelEye社によるサポート
 - CDP(継続的データ保護)のためのリカバリ機能
 - 非同期タイプのレプリケーションが可能
- 組み合わせ動作検証を行い、採用を決定





なぜデータレプリケーションか? お客様に採用いただきたい理由

- トータルなコストメリット
 - 共有ストレージ製品のコスト
 - 一般的なPCサーバだけなので代替機用意が容易
 - ファイバーチャネルのストレージ組める技術者がいらない (結構むずかしい・・・メーカー別の技法を要する)
- 目的によっては十分な性能
- 非同期タイプによる遠隔地へのレプリケーションを同じ技術で実現できる







性能はどうか?

• 弊社での性能検証

[データ転送専用経路 GigaBit Ethernet Adapter]

pgbench

Scale: 10 Connect: 100 Transaction: 100

参照系/更新系





レプリケーションタイプ: 同期



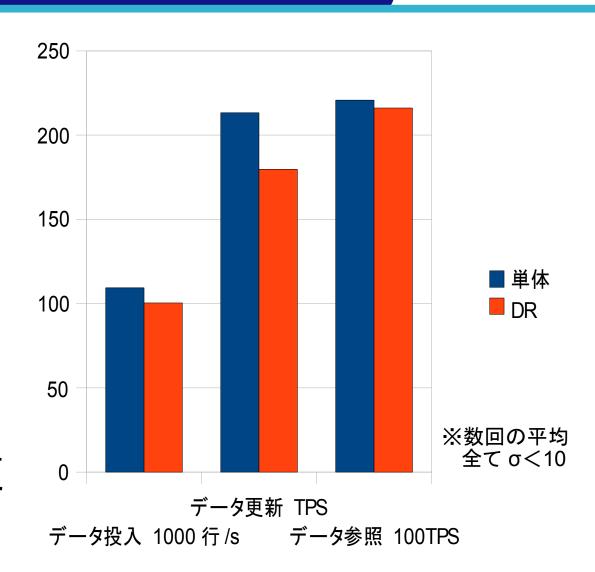
(SmartArray) Ultra320 SCSI 72GB × 2 RAID0 / data領域 72GB × 1 単発 / OS領域





検証結果

- データ投入、データ参照では、性能差は僅か
- データ更新を含む トランザクション性 能で、15%程度 のダウン
- 非同期の場合、更 新も差異なくなる

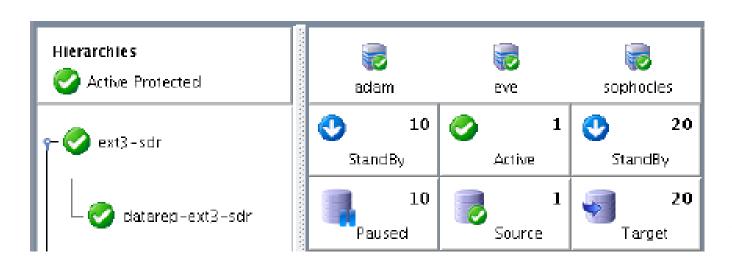






データレプリケーション:技術的な注意点

- 障害後に再びクラスタ状態を構築する場合
 - 再データ同期(全同期)に時間がかかる
 - 全同期が終わる前に誤った操作をしないように!
 - resyncも青色なので注意/設定間違いであわてて切り戻さない



※左の画像は、 LifeKeeper SDR マニュアルより





共有ディスク構成との比較

	共有ディスク	データレプリケーション
構成コスト	Δ	0
構築	Δ	0
運用性	0	0
性能		Δ
遠隔対応	×	0





他のレプリケーションソリューションと比較

- pgpool-II
 - プロキシ型のクエリベースの同期レプリケーション
 - 読み取り負荷分散ができる
 - SQLを選ぶ(サーバ側データ生成、同時実行不整合)
- Slony-I
 - 論理行データの非同期転送によるレプリケーション
 - マスター機のオーバーヘッドが大きい
 - ごく一部、SQLを選ぶ(ラージオブジェクト)

PostgreSQLサポート&保守サービス ゴールド にて、サポート提供 (840,000円/年 税込)





まとめ

- PowerGres on Linux HA V6 の2つのポイント
 - 「LifeKeeper for Linux V6 SteelEye Data Replication」によるデータレプリケーション構成に対応
 - バンドルされる データベース部分のサポートメニューがお 求め安い価格に

Powergres on Linux HA V6 でデータレプリケーション構成は、コスト、性能のバランスの良いソリューション!





ありがとうございました

<u>お問い合わせ</u>

Mail: powergres-sales@sraoss.co.jp Tel:03-5951-1191 SRA OSS, Inc. 日本支社 マーケティング部 営業グループ